

当院における表在型非乳頭部十二指腸腫瘍に対する Underwater EMR の治療成績

1. 研究の対象

2013 年 1 月から 2018 年 4 月の間に、当院で表在型非乳頭部十二指腸腫瘍に対し、浸水下での内視鏡的粘膜切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

目的: 表在型非乳頭部十二指腸腫瘍に対し、当院では基本的に従来法の粘膜切除術(生理食塩液を粘膜下に注入してスネアという特殊なワイヤーで切除する方法)もしくは、粘膜下層剥離術(ワイヤーではなく、電気メスで切除する方法)で治療していました。しかし、過去の検討では治療後の穿孔(十二指腸粘膜に穴があくこと)が、それぞれ 4%、17%と高い割合で見られたため、2014 年以降浸水下での粘膜切除術(UEMR)を導入しました。これは十二指腸内に生理食塩液を満たし、浮き上がった腫瘍をスネアで絞めて切除する方法です。UEMR は従来の方法に比べ一括切除の割合が低いものの、安全性、簡便性では優れています。今回、当院の表在型非乳頭部十二指腸腫瘍に対する UEMR の治療成績を明らかにすることを目的としました。

方法: UEMR の成績(処置時間や合併症の割合など)、治療後の経過(再発の割合など)につき、後方視的に検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: なし

情報: 病歴、カルテ番号、内視鏡画像 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪国際がんセンター 消化管内科 竹内洋司/岩上裕吉

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1900

研究責任者:

大阪国際がんセンター 消化管内科 竹内洋司

-----以上